

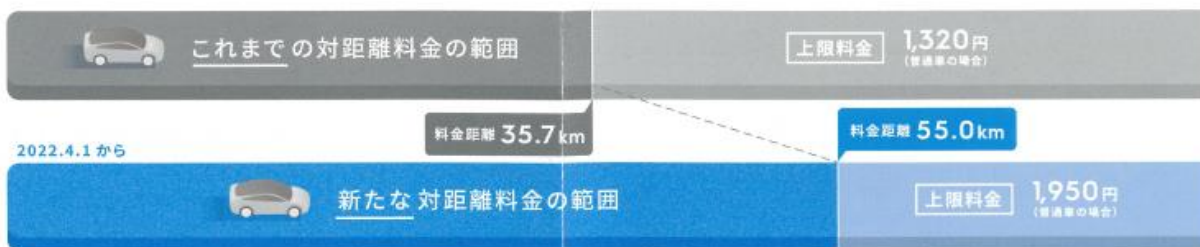
## 上限料金の見直し

# 料金距離 35.7km 超のご利用の料金を変更します

ETC車は上限料金を見直し、料金距離35.7km超のご利用の料金を変更します。また料金距離55.0km超のご利用について、新たな上限料金(普通車1,950円)を設定します。現金車は一部の区間を除いて、ETC車の上限料金(普通車1,950円)をお支払いいただけます。<sup>※1</sup>

※1 郊外方向の端入料金所等では、ご利用が可能となる最速出口等までの距離を「料金距離」とし、その「料金距離」に応じた料金をお支払いいただきます。なお、料金距離とは、基本料金を決めるために当社が定めた入口、出口間の距離をいいます。料金距離は実際の走行上の距離とは異なる場合があります。

ETC車の場合



### 区間と料金(例)

料金は普通車・ETCをご利用の場合

これまで

2022.4.1から

区間	距離	これまで	2022.4.1から
1 空港中央 ↔ 川崎浮島 JCT   4.2km	4.2km	300円	
2 三郷 JCT ↔ 中環小松川   18.1km	18.1km	750円	
3 横浜青葉 JCT ↔ 杉田   33.3km	33.3km	1,250円	
4 川口 JCT ↔ 用賀   38.6km	38.6km	1,320円 (上限料金)	1,420円
5 さいたま見沼 ↔ 並木   86.6km	86.6km	1,320円 (上限料金)	1,950円 (上限料金)



## 深夜0~4時<sup>※3</sup>の深夜割引20%割引を導入

混雑している昼間のご利用から、比較的交通量が少ない深夜のご利用への転換を促すため、深夜割引を新たに導入。深夜0時から4時までの間に首都高速道路の入口等を通過する車両の料金を20%割引します(ETC無線通行に限る)。



※3 深夜割引の適用判定は、首都高の最初のETCアンテナとの通信時間が基準

### 車種区別料金(下限額~上限額)<sup>※4</sup> ETCをご利用の場合

	軽・二輪	280円 ~ 1,590円
	普通車	300円 ~ 1,950円
	中型車	330円 ~ 2,310円
	大型車	400円 ~ 3,110円
	特大車	550円 ~ 5,080円

※4 料金額は0.1km毎の料金距離に応じて、10円単位で加算されます。

・2021年4月から延長継続していた中型車及び特大車の「暫定車種別比率」は2022年3月31日に終了します。

・上限料金の見直しに伴い、横浜北西線と東名高速を連続して利用する場合の料金は、2022年3月31日に終了します。